



2021年3月期第1四半期 決算説明資料

2020年8月

株式会社NexTone

東証マザーズ コード：7094

I	2021/3期第1四半期決算概要	3
II	会社概要	11

2021/3期第1四半期決算概要

■ 現在、顕在化している影響

(+) 巣ごもり需要により、音楽聴取ニーズはむしろ拡大

(-) キャスティング事業のイベント関係は4月以降、延期・中止状態

➡ 2021/3期1Q決算ではトータルの業績面ではややプラス

■ 今後、予想される影響

(+) 音楽配信や動画配信等のホームエンタテインメントのニーズの追い風は継続

(-) キャスティング事業などはイベントの自粛・延期・中止などが逆風

➡ 2021/3期見通しでは影響は (+-) ほぼ相殺と想定

2021/3期第1四半期決算概要

- ✓ 51%増収、102%営業増益。想定に対しては超過達成
- ✓ 好調の主因は著作権等管理事業の大幅伸長
- ✓ 見通しに対する進捗率は想定を上回るものの、通期は予想通りの着地を見込む

(百万円)	2020/3期 1Q実績 (参考情報※)	2021/3期 1Q実績	前年 同四半期比 増減率	2021/3期 通期見通し	進捗率
売上高	855	1,294	51.3%	5,600	23.1%
著作権等管理	787	1,268	61.1%	4,900	25.9%
キャスティング	34	3	▲91.2%	600	0.5%
その他	32	22	▲31.3%	60	36.7%
営業利益	59	121	105.1%	380	31.8%
著作権等管理	153	271	77.1%	670	40.4%
キャスティング	5	▲7	—	10	—
その他	4	10	150%	30	33.3%
親会社株主帰属 四半期純利益	46	82	78.3%	220	37.3%
営業利益率	7.0%	9.4%	+2.4p	6.8%	—

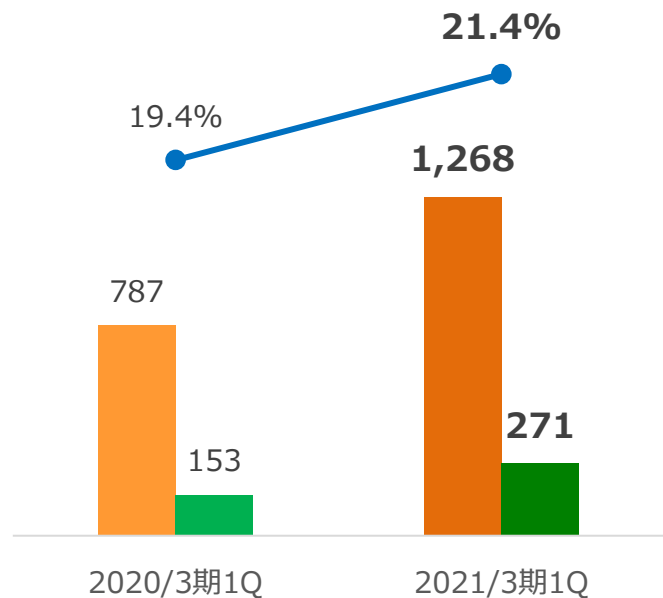
※ 当社は2020年3月30日に上場したため、2020/3期1Q実績は参考情報として記載しております

- ✓ 主力の著作権等管理事業は好調
- ✓ キャスティング事業売上高では、ライブビューイングなどのイベント案件の延期・中止および大型プロジェクトで一つの案件満了が影響し減収

著作権等管理事業

(百万円)

売上高 営業利益 営業利益率

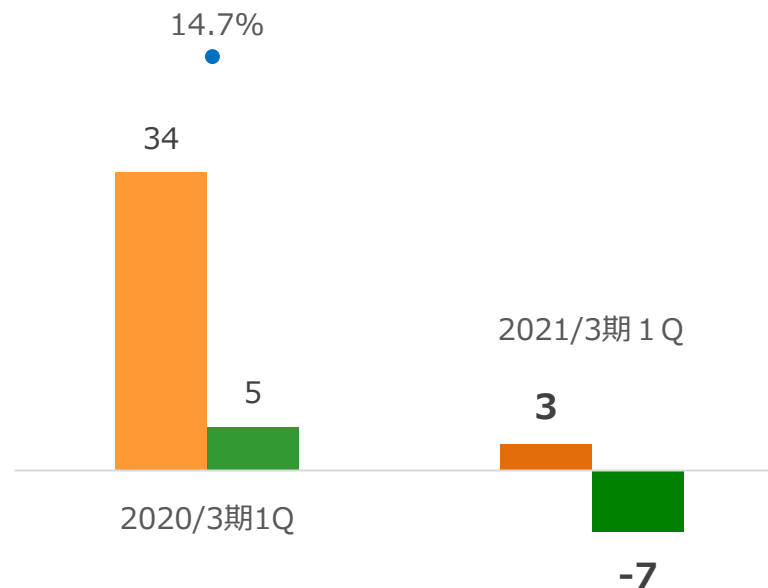


(注) DD : 売上高 = 取扱高

キャスティング事業

(百万円)

売上高 営業利益 営業利益率

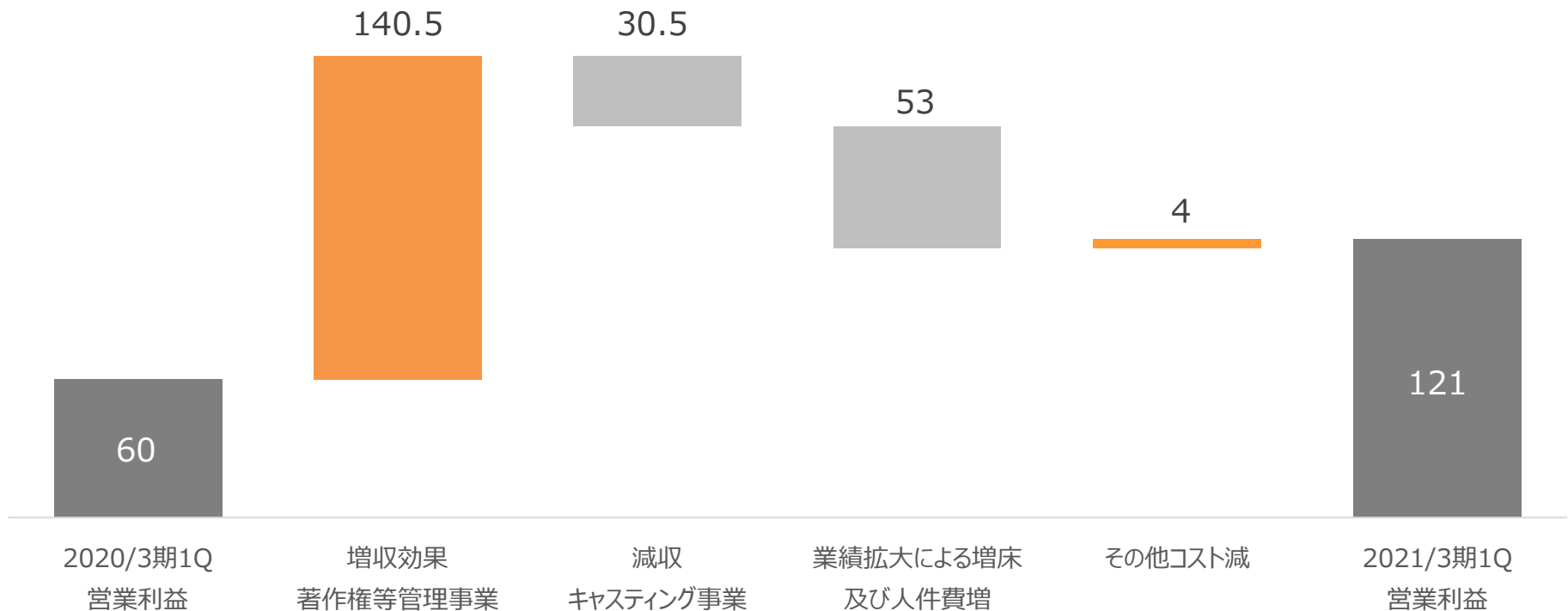


営業利益増減要因分析

- ✓ 大幅増益の主因は著作権等管理事業の売上拡大による増収効果。他方でコロナ禍の影響でキャストिंग事業は減収だったが、著作権等管理事業の増収により吸収
- ✓ 一方、コスト面では業績拡大に伴う人件費や増床による家賃増などが発生。しかし、これらコスト上昇は著作権等管理事業の売上増による増益寄与で吸収し、営業利益は倍増

営業利益増減要因分析

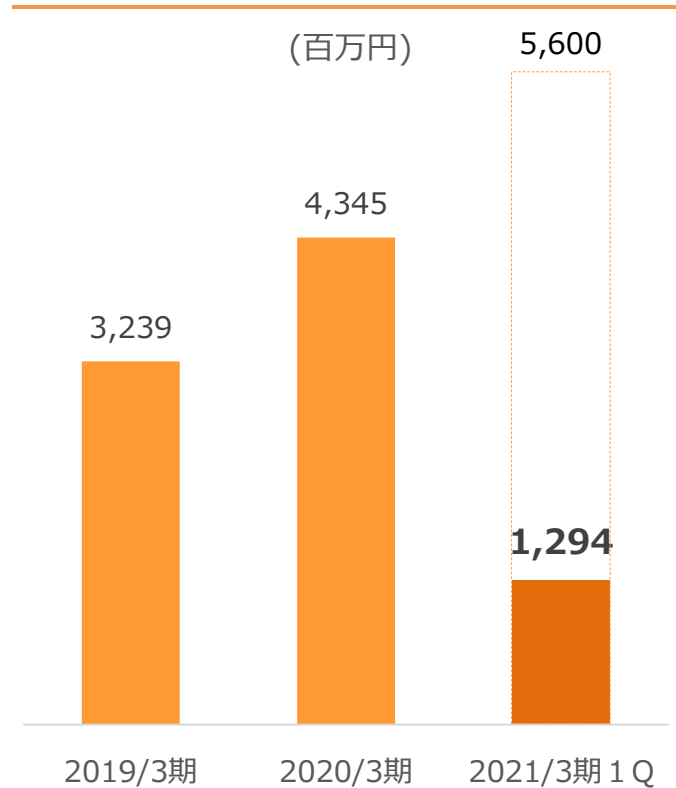
(百万円)



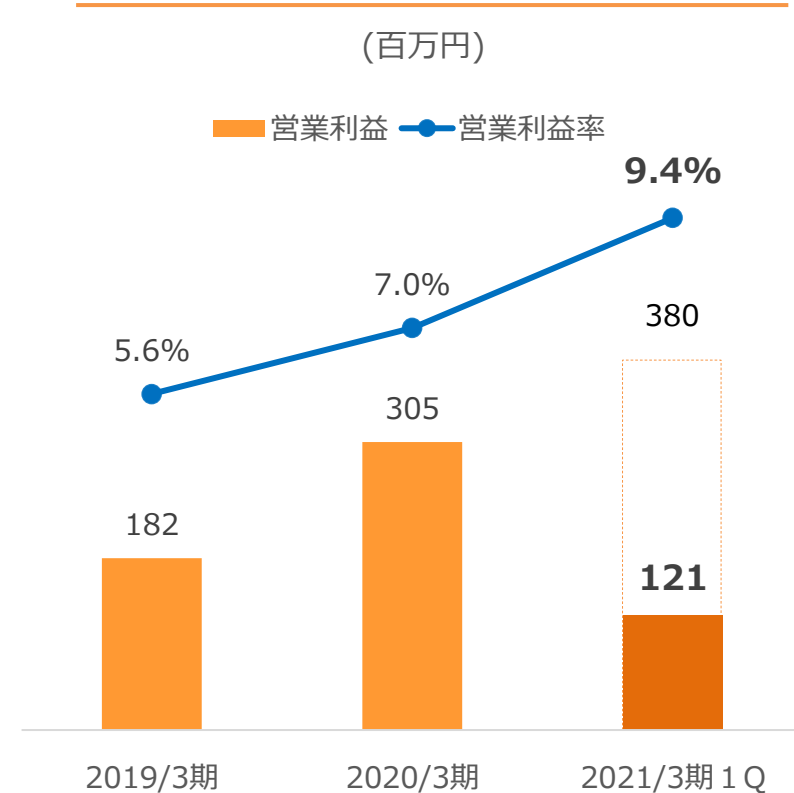
中期業績推移

- ✓ 2016年のNexTone発足以降、売上高は年率4割弱で成長。直近期もその成長ピッチを維持
- ✓ インタラクティブ配信の伸長などを牽引役に、2018/3期以降は過去最高益を連続更新中

売上高



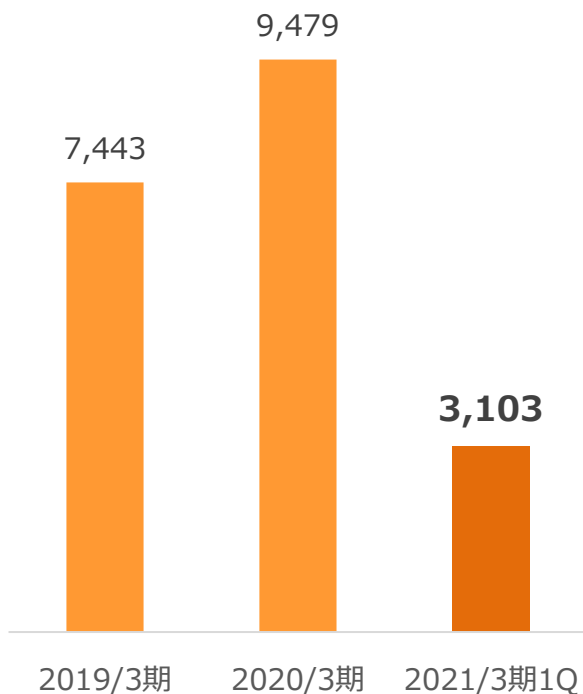
営業利益、営業利益率



- ✓ 取扱高（総入金額）は每期拡大、前期は27%増加
- ✓ 取扱高の基礎となる管理作品数および取扱原盤数は順調に拡大
- ✓ 既存作品の管理獲得に加え、新規作品の取込みも進展

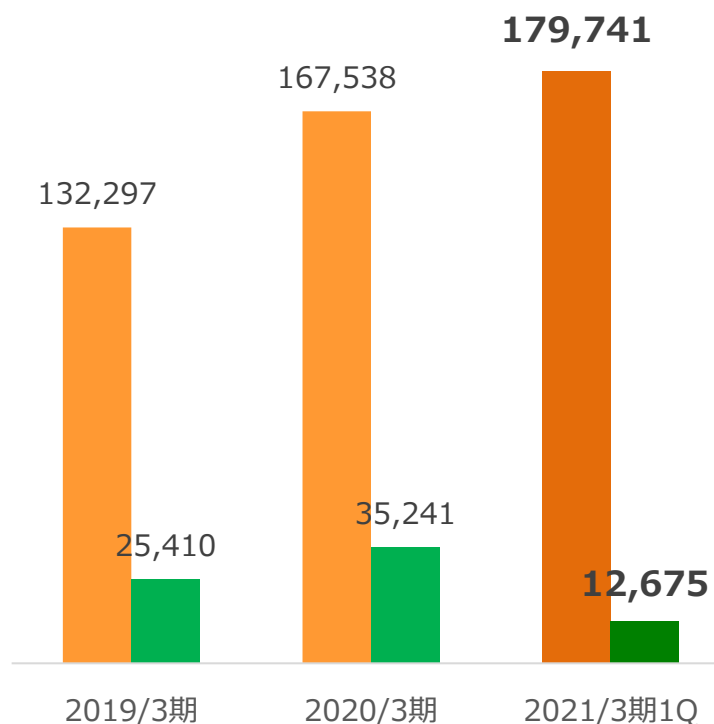
取扱高

(単位：百万円)



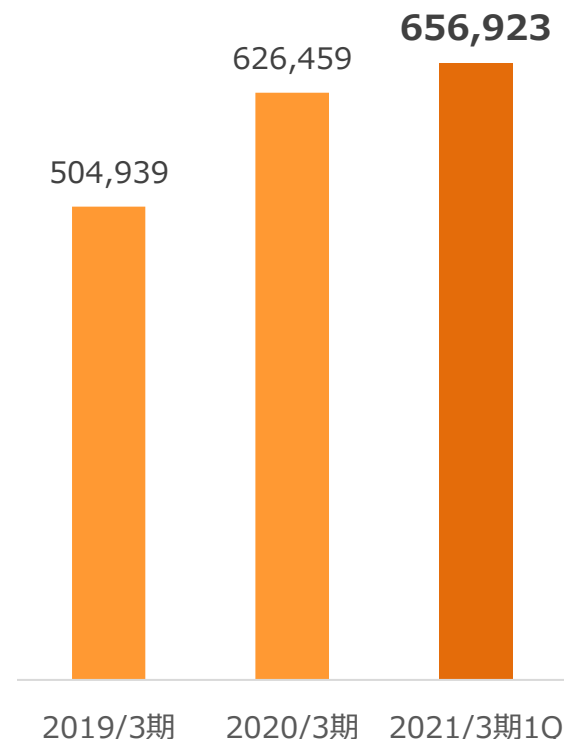
著作権管理作品数

■ 管理作品数 (曲) ■ 期中新規作品数 (曲)



取扱原盤数

(単位：原盤)

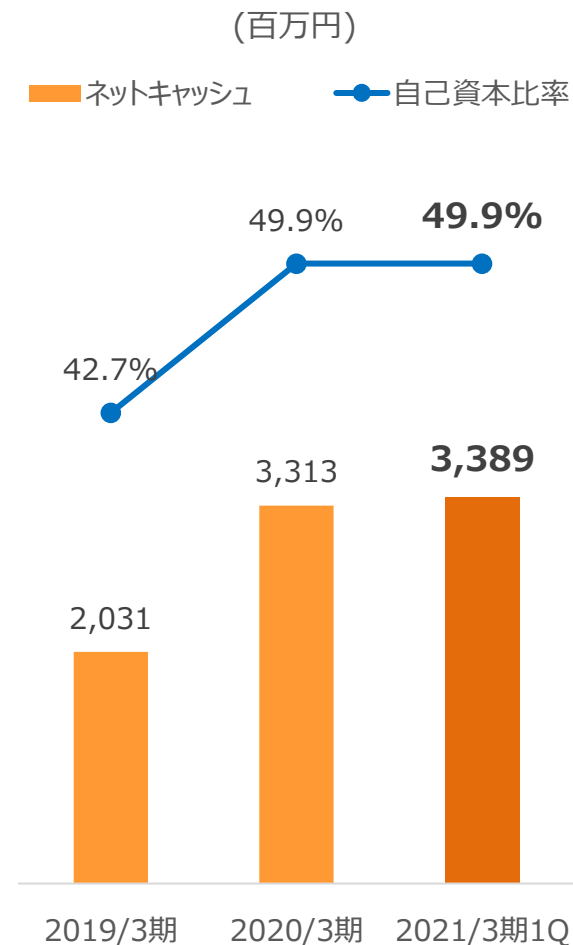


バランスシートの状況

- ✓ 無借金経営を継続。増資資金収入も加わり、ネットキャッシュは33億円と総資産の約8割を占める
- ✓ 負債勘定では、著作権管理業務の事業拡大に応じた未払金が増加。期末の自己資本比率は50%

(百万円)	2019/3期	2020/3期	2021/3期1Q	前期末比増減
流動資産	2,594	3,630	3,757	+127
現預金	2,031	3,313	3,389	+76
売掛債権	441	175	169	▲6
前渡金	104	82	86	+4
固定資産	541	615	656	+41
無形固定資産	432	476	499	+23
総資産	3,135	4,246	4,413	+167
負債	1,792	2,126	2,209	+83
買入債務	565	505	477	▲28
有利子負債	0	0	0	±0
未払金	810	1,112	1,362	+250
前受金	142	99	78	▲21
純資産	1,343	2,120	2,203	+83
負債純資産合計	3,135	4,246	4,413	+167

財務状況の推移



会社概要

社名	株式会社NexTone [英語名：NexTone Inc.]			
代表者	代表取締役CEO 阿南 雅浩			
設立年月	2000年9月（2016年2月、イーライセンスとJRCが合併してNexToneに商号変更）			
本社所在地	東京都渋谷区広尾 1-1-39 恵比寿プライムスクエアタワー20F			
資本金	1,113,012千円（2020年6月末）			
役員構成	代表取締役CEO	阿南 雅浩	常勤監査役	佐藤 俊樹
	代表取締役COO	荒川 祐二	社外監査役	小林 伸之
	専務取締役	名越 禎二	社外監査役	大嶋 敏史
	社外取締役	高橋 信彦		
	社外取締役	升本 喜郎		
事業内容	著作権等管理事業/キャスティング事業/その他			
売上規模	4,345,481千円（2020年3月期）			
従業員数	71名（2020年6月末）			
総資産	4,246,891千円（2020年3月末）			
主な取引先	エイバックス・グループ、(株)ドワンゴ、(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント、(株)ワーナーミュージック・ジャパン、iTunes(株)、Google(株)、(株)レーベルゲート、(株)レコチョク、他			

経営理念 権利者に選ばれ、
利用者から支持される
著作権管理事業者となる。

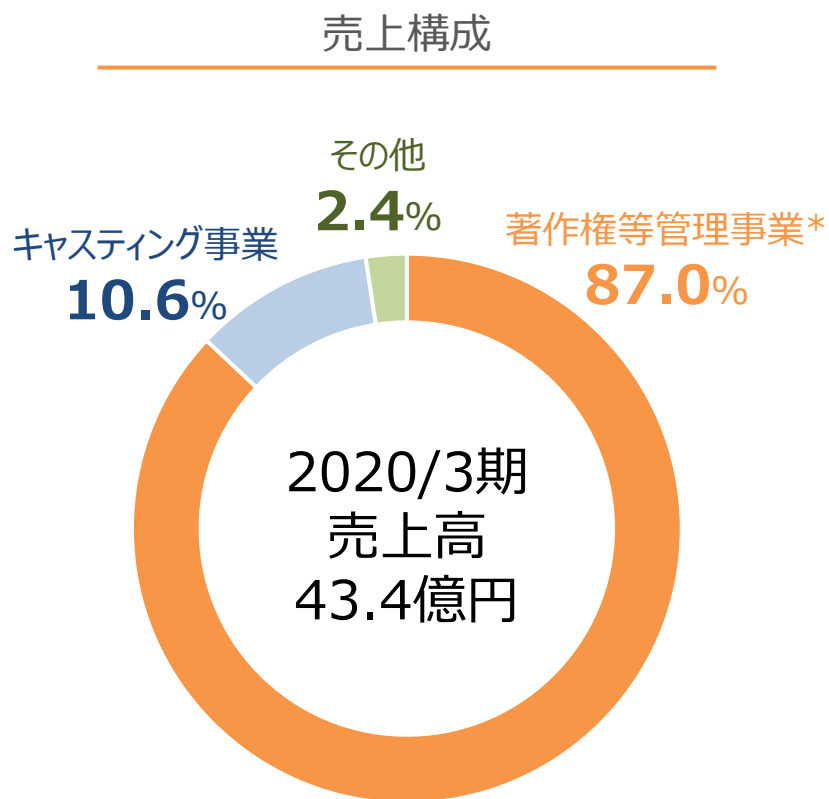


for the future of

MUSIC

楽曲著作権者と利用者との間に立ち、
著作権の管理と利用促進を推進する
著作権エージェント

- ✓ 「著作権等管理事業」、「キャスティング事業」及び「その他」の事業セグメントで構成
- ✓ 全社売上の9割弱を占める「著作権等管理事業」は管理業務と配信プラットフォーム向けコンテンツ供給が主体
- ✓ 「キャスティング事業」「その他事業」でも音楽出版社、アーティスト等、音楽産業に携わる皆さまを幅広くサポート



*DD：売上高＝取扱高

■ 著作権等管理事業

➢ 著作権管理

- ・ 著作権者から委託を受けた音楽著作物の利用許諾
- ・ 著作物使用料の徴収・分配業務など

➢ デジタルコンテンツディストリビューション(DD)

- ・ 国内外の音楽配信プラットフォームに向けた音楽・映像コンテンツの供給

■ キャスティング事業

➢ キャスティング・コンサルティング

- ・ アーティスト稼働やライブへのユーザー招待、楽曲タイアップに関わる音楽コンテンツの権利処理等を通じたコンテンツ利用促進コーディネート

➢ ODSサポート ※

- ・ ライブビューイング／映画配給・宣伝
- ・ 映画館を利用したイベントコーディネート等

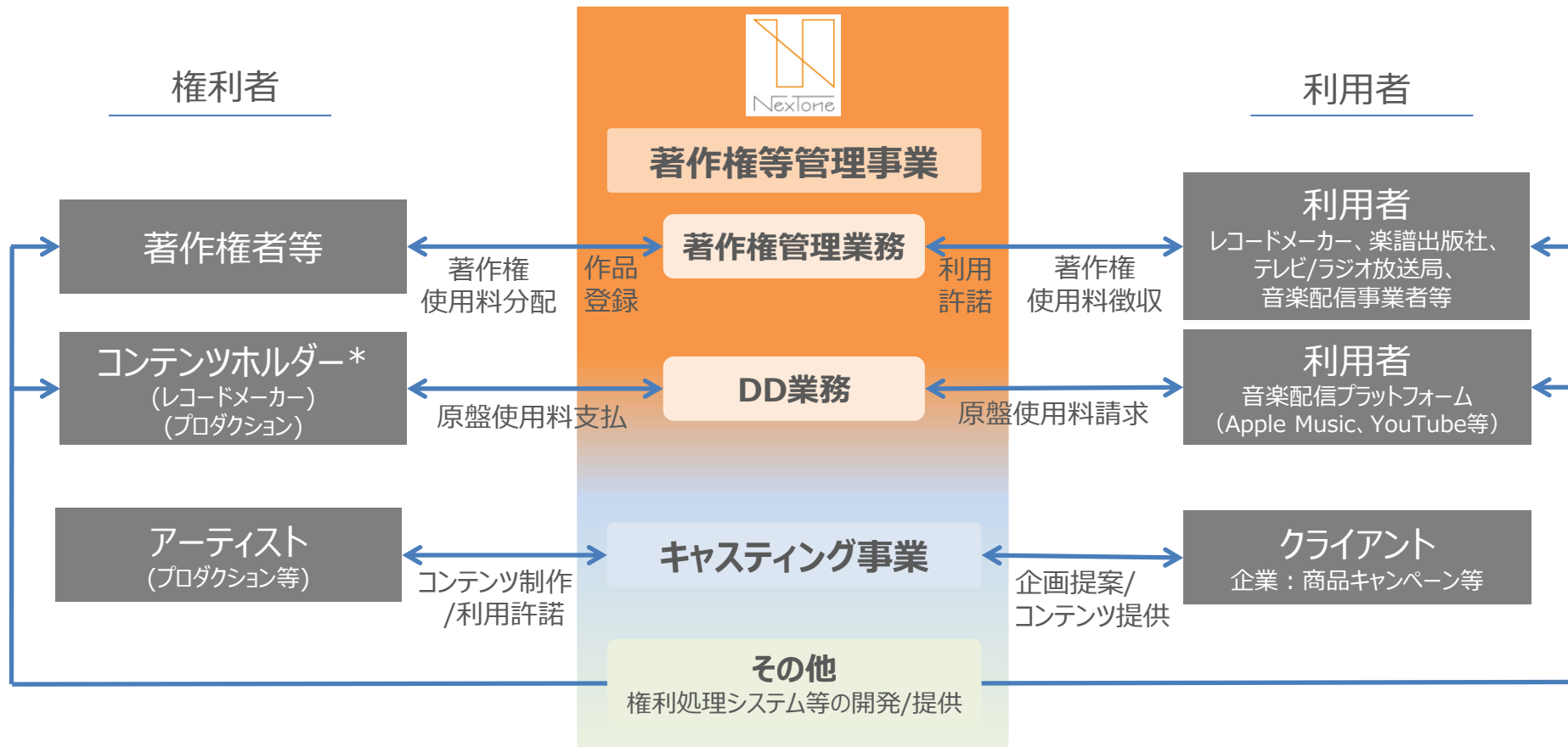
■ その他

- 著作権・原盤権等の権利処理システムの開発・提供、コンテンツ配信関連のシステム開発・提供、及び、各種社内システムの開発・運用など

※ ODS Other Digital Stuff (非映画デジタルコンテンツ)

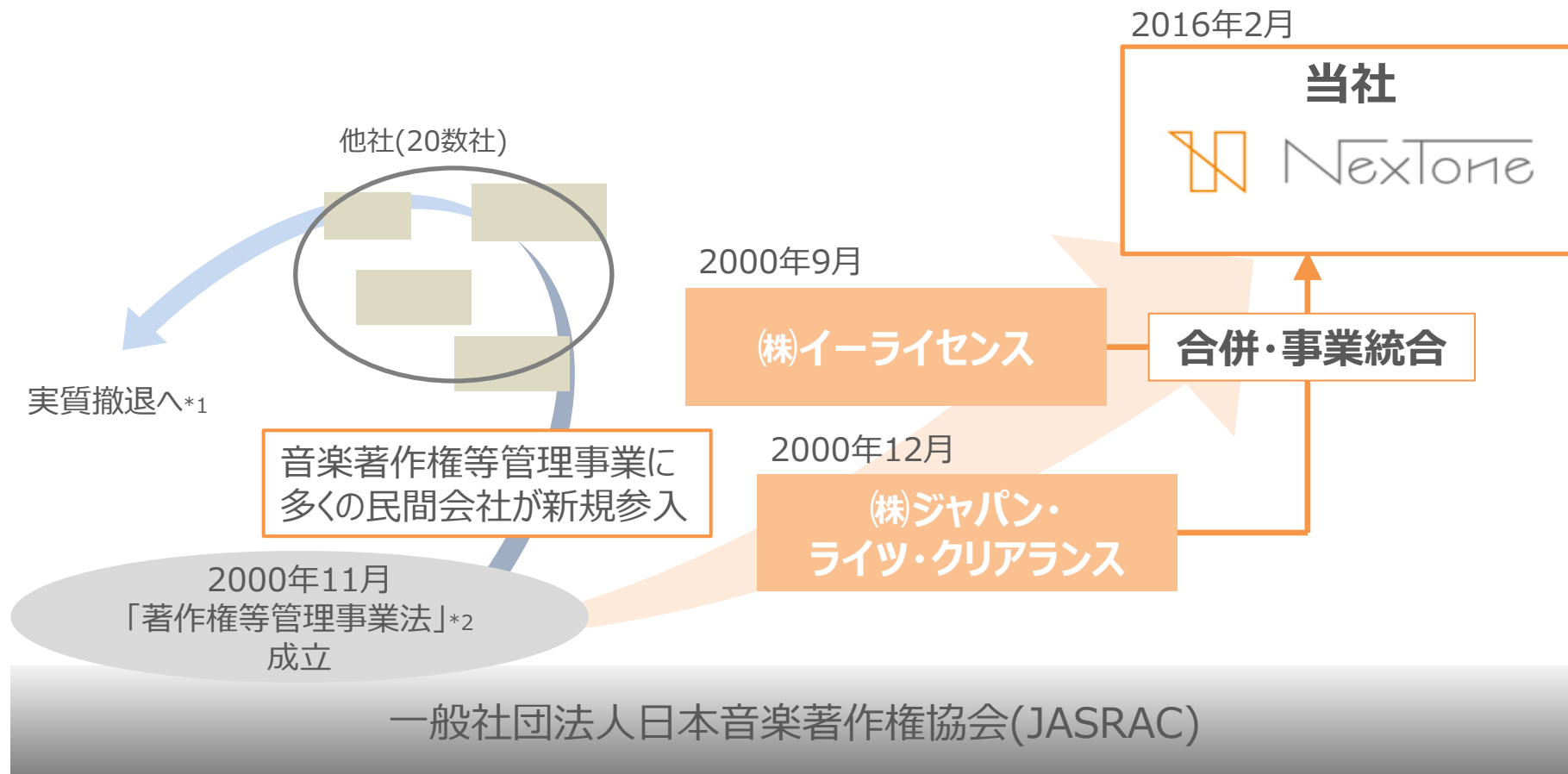
映画館で上映される映画以外(音楽コンサート、スポーツ、演劇、その他ステージイベント等)のデジタル映像作品

- ✓ 当社は著作権管理、配信音源供給、キャスティングに専念し、ユーザーと権利保有者との仲介エージェントとして機能
- ✓ 基本的に利用者より使用料を徴収し、コンテンツホルダー他に分配



*2019年3月現在で600社以上

- ✓ 「著作権等管理事業法」施行により、デジタル化の進展を想定した多数の民間企業が当事業に参入
- ✓ 当社はその中の2社「(株)イーライセンス」・「(株)ジャパン・ライツ・クリアランス」が合併統合し発足
- ✓ しかし、デジタル化ピッチは加速せず、各社実質撤退。現在は、老舗のJASRACと当社の2社が実質活動中



*1：企業登録は残っているものの、楽曲管理はJASRACに既に移管している状態

*2：「著作権等管理事業法」成立前は、一般社団法人日本音楽著作権協会(JASRAC)が法律「著作権二関スル仲介業務二関スル法律」で唯一認可された管理事業者

- ✓ 2000年の法改正により、30社程度が新規参入を表明
- ✓ しかし、当社以外の新規参入社は全て実質事業を縮小。現在は、JASRACと当社の実質2社体制
- ✓ 日々の膨大な著作権利用に係るデータや情報のシステム管理と具体的料金徴収及び分配金支払業務はかなりの負担。新規参入障壁は高い

著作権管理事業への参入障壁

① 著作権管理は手数料5.0～9.8%の低収益事業

② 日々の膨大かつ複雑な著作権利用に係るデータや情報のシステム管理能力が必要

③ 手数料徴収及び権利者への分配金支払の膨大な実務能力が必要

2000年の法改正で
28業者が登録するも、
現在は
実質上の撤退状態

当社は数少ない「生き残り」の民間企業
JASRACと当社の実質2社体制へ

- ✓ 作品名、利用者、使用数等の「分配明細」を定期的に権利者に開示するデジタル管理システムを構築
- ✓ 利用状況が明確となるため、著作権使用料の確認だけでなく、マーケティングデータとしても活用可能

デジタル管理
(「分配明細」例)

<インタラクティブ配信>

作品コード	作品名	利用者	サービス名	種別	TV	使用数	単価	使用料(税別)	消費税率	備考
作品合計										
						48		12	8%	
						24		3	8%	
						3	7.80	22	8%	
						2	7.95	14	8%	
						71		9	8%	
						12		2	8%	
						1	8.13	8	8%	
						1	8.00	8	8%	
作品合計										
						195		9	8%	
						818		132	8%	
						479		1	8%	可換
						1,156		217	8%	

作品名、利用者、サービス名、使用数、使用料等

<YouTube配信>

NexTone作品コード	作品名	動画ID	動画タイトル	動画の期間内再生数	サービス情報	国コード
N0000****	*****	*****	*****	2	YouTube Music	JP
N0000****	*****	*****	*****	1	YouTube Music	JP
N0000****	*****	*****	*****	500	YouTube	JP
N0000****	*****	*****	*****	92	YouTube	JP
N0000****	*****	*****	*****	4	YouTube Music	JP
N0000****	*****	*****	*****	2	YouTube Music	JP
N0000****	*****	*****	*****	5	YouTube Premium	JP
N0000****	*****	*****	*****	1	YouTube Music	JP
N0000****	*****	*****	*****	4	YouTube Music	JP
N0000****	*****	*****	*****	2	YouTube Music	JP
N0000****	*****	*****	*****	5	YouTube Premium	JP
N0000****	*****	*****	*****	1	YouTube Music	JP

作品名、動画タイトル、再生数等

<放送>

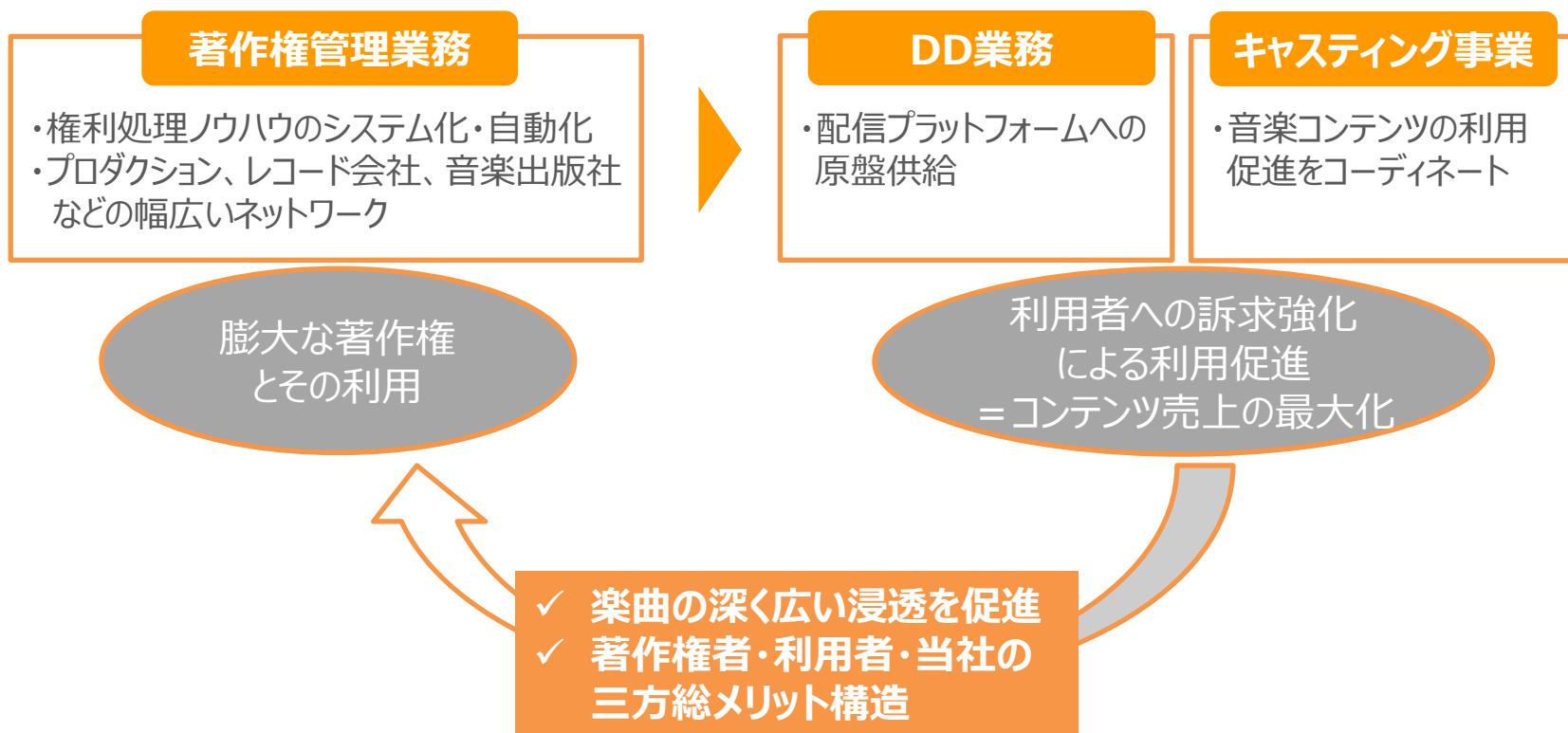
作品コード	作品名	種目	利用者	番組名	利用秒数	利用回数	放送年月日
N0000****	AAAAA	TT	長野朝日放送株式会社	*****	43	1	2019/2/20
N0000****	AAAAA	TT	株式会社静岡朝日テレビ	*****	43	1	2019/2/7
N0000****	AAAAA	TT	九州朝日放送株式会社	*****	43	1	2019/2/28
N0000****	BBBBB	TR	株式会社エフエム青森	*****	25	1	2019/3/3
N0000****	BBBBB	TR	株式会社エフエム仙台	*****	67	1	2019/3/2
N0000****	BBBBB	TR	株式会社エフエム山形	*****	131	1	2019/3/3
NOC							3/3
NOC							3/3
NOC							3/3
N0000****	CCCCC	TR	株式会社エフエム栃木	*****	15	1	2019/3/3
N0000****	CCCCC	TR	株式会社エフエムラジオ新潟	*****	30	1	2019/2/27

作品名、利用者、番組名、利用秒数、放送日等

透明な分配による権利者からの信頼獲得

さらなる作品登録の拡大を実現



- ✓ 楽曲の利用状況データは利用促進への重要なアセットとしても活用
- ✓ データを活用した配信プラットフォームへの原盤供給（DD）やキャスティングにより、楽曲の浸透速度を加速
- ✓ 著作権の管理のみならず、利用促進まで手がけ「権利者に選ばれ、利用者から支持される」経営理念実現へ



音楽著作権について

- ✓ 音楽著作権は、4つの支分権（①～④）と7つの利用形態（⑤～⑪）により形成
- ✓ 当社は現状、演奏権等（①）を除くすべての領域（②～⑪）を管理

①演奏権等	②録音権等	③出版権等	④貸与権
<ul style="list-style-type: none"> ・ コンサートでの演奏 ・ カラオケ ・ 店舗内BGM ・ 映画館での上映、等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ CDの複製、等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌詞集の印刷 ・ 楽譜の印刷、等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ CDレンタル
	⑤映画への録音		
	⑥ビデオグラム等への録音		
	⑦ゲームへの録音		
	⑧広告目的で行う複製 <ul style="list-style-type: none"> ・ テレビ/ラジオCMへの複製 ・ インターネットCMへの複製 ・ 広告印刷物への歌詞の複製、等 		
	⑨放送・有線放送 テレビ/ラジオでの放送、等		
	⑩インタラクティブ配信 スマートフォン/パソコンへの配信、等		
	⑪業務用通信カラオケ カラオケ施設での歌唱のための複製、公衆送信、等		

	当社	JASRAC
著作権使用料徴収額 (2019年度実績)	55億円	1,177億円
管理手法	主にデジタル管理	アナログ/デジタル管理の混在
徴収形態	使用実績に応じて徴収	一定基準での みなし徴収システムを併用
著作権等の管理範囲	「演奏権」以外	全領域
委託者（著作権者） との契約形態	委託契約 (委任/取次)	信託契約 ＜著作権はJASRACに移転＞
権利者の意思反映	 権利者裁量により 柔軟に料率変更が可能	 権利者の意思が 反映し難い

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】
株式会社NexTone 経営企画部
ir@nex-tone.co.jp